

が出血に対する不安感より解放され、出血頻度、欠席日数の減少などの利点があることを認めたが、一方、注射回数の増加傾向も認めた。現在のところ、特記すべき副作用、事故を認めていないが、法律、保険などの問題もあり、今後、更に特定機関での慎重な観察とともに医療機関のみならず行政上の観点よりの幅広い検討が望まれる。

昭和54年度厚生省心身障害研究

“小児血友病の療育と出血管理に関する研究”

「血友病遺伝相談の問題点」遺伝相談62例の解析と妊婦対策

奈良医大小児科	吉	岡	章
	塚	田	周
	福	井	弘
国立大阪病院小児科	木	下	清
	吉	岡	慶一郎

「目的」

遺伝相談は血友病発生子予防上重要である。実際の相談例を解析し、このうち問題の多い妊婦対策につき若干の考察を加えた。

「対象と方法」

昭和50年11月より昭和55年1月の間に国立大阪病院及び奈良医大で行った血友病にかかわる遺伝相談62例。カウンセラーは主として吉岡章1人がクライアントと面接し、1～4回のカウンセリングを行った。羊水検査による性別判定は大阪市立母子センターで行った。

「結果と考察」

別表に示すごとく62例のうち、保因者診断にかかわるもの44例（実際ののべ診断症例数は60）と多く、妊婦の相談は16例、結婚相談は2例であった。

保因者診断は家系図と凝血学的、免疫学的第Ⅷ（Ⅹ）因子測定によって行い、可能保因者21例中12例、潜在保因者22例中15例を保因者と診断した。

妊婦のうち9例はすでに保因者と診断されており、血友病の妻の妊娠と同様、遺伝的予後に関する再発危険率の推定は平易であった。しかし、クライアントの行動としては妊娠継続、人工妊娠中絶、羊水検査による性別判定（→継続又は中絶）と各人各様であった。

未だ保因者診断のなされていない妊娠4例のうち2例が中絶し、後に保因者でないと判明したこ

とは問題である。妊娠中の保因者診断が可能か否かを知る目的で、健康妊婦（各月5～10名）の各妊娠月数における第Ⅷ因子活性（Ⅷ：C）と第Ⅷ因子関連抗原（ⅧR：AG）の変動を測定した（別図）。図のごとく月数の進むにつれ、Ⅷ：C、ⅧR：AGは共に増加し、その増加傾向はⅧ：Cの方が著明であった。上記2例中測定し得た1例は妊娠4月でⅧ：C 250%、ⅧR：AG 180%、Ⅷ：C/ⅧR：AG 1.40、中絶後はⅧ：C 90%、ⅧR：AG 90%、Ⅷ：C/ⅧR：AG 1.0と正常妊婦のパターンであった。

今後、保因者の妊娠経過中の第Ⅷ因子の動態を検索することにより、妊婦中保因者診断の可能性を追求したい。

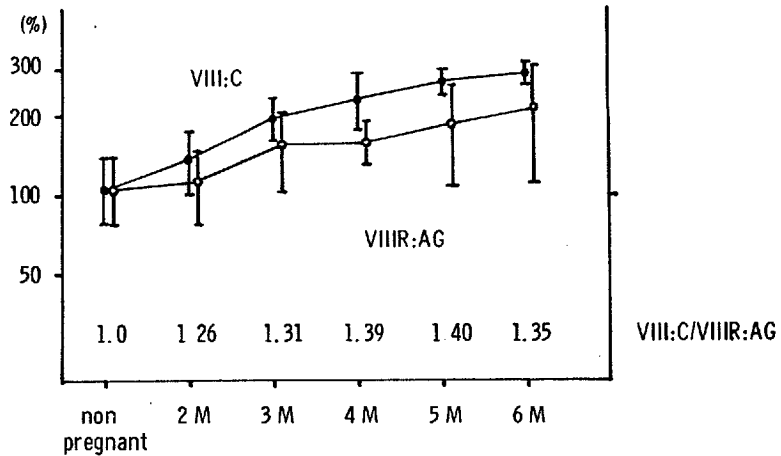
血友病における遺伝相談（62例）※

（昭和50年11月～昭和55年1月）

1. 保因者診断	44相断例（60診断例）	
确实保因者	17	
可能保因者	21	
（保因者と診断された者 未診断	12 4	保因者でないと診断された者 5
潜在保因者	22	
2. すでに保因者と診断されていた妊婦	9相断例	
妊娠継続	3	（健康男児 1. 女児 1. 不明 1.）
羊水検査施行	3	（46XX→女児出産 1. 46XY→中絶 1. 検査中 1）
人工妊娠中絶	2	
自然流産	1	
3. 未だ保因者診断のなされていない妊婦	4相断例	
妊娠継続	2	（健康男児 1. 女児 1）
人工妊娠中絶	2	（共に中絶後の保因者診断にて保因者でないと判明）
4. 患者の妻の妊娠	3相断例	
妊娠継続	1	
人工妊娠中絶	1	
羊水検査施行	1	（46XX→中絶）
5. 患者と婚約者の結婚相談	2相断例	

※ 血友病 A 55例

血友病 B 7例



Levels of VIII:C and VIIIIR:AG in normal pregnant in various gestation

Genetic counseling concerned with hemophilia (62 cases)
(From Nov. ,1975 to Jan. ,1980)

-
1. Carrier detection 44 counseling cases
(60 personal cases)
 - Definite carrier 17
 - Probable carrier 21
(Carrier 12, Not carrier 5, Not yet determined 4)
 - Potential carrier 22
(Carrier 15, Not carrier 7)

 2. Pregnant who was already made a diagnosis of carrier. 9 cases
 - Pregnancy was kept. 3
(Healthy boy 1, Girl 1, ? 1)
 - Amniocentesis 3
(46 XX - Girl 1, 46 XY - D&C 1, Under examination 1)
 - D & C 2
 - Spontaneous abortion 1

 3. Pregnant who has been not yet made a diagnosis of carrier. 4 cases
 - Pregnancy was kept 2
(Healthy boy 1, Girl 1)
 - D & C 2
(Two of them were made a diagnosis of " not carrier " after D&C.)

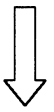
 4. Pregnant is a wife of a hemophiliac. 3 cases
 - Pregnancy was kept. 1
 - D & C 1
 - Amniocentesis 1
(46 XX - D&C)

 5. Hemophiliac is going to get married. 2 cases
-

* Hemophilia A 55 cases, Hemophilia B 7 cases



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



「目的」

遺伝相談は血友病発生予防上重要である。実際の相談例を解析し、このうち問題の多い妊婦対策につき若干の考察を加えた。